

小牧山城 続日本100名城

戦国時代を駆け抜けた風雲児・織田信長は、岐阜城(稲葉山城)攻略のため、永禄6年(1563年)、小牧山に自分の理想とする城と町をゼロから作り上げました。

信長は、小牧山城を中世以来の「土の城」ではなく、石垣を張り巡らせた革新的な「石の城」としました。小牧山城は「日本の城郭史を変えた石の城」であり、「天守がそびえる石垣の城」のルーツといえます。

信長が小牧山城を去って17年後、徳川家康は羽柴(豊臣)秀吉との「小牧・長久手の合戦」で小牧山城に陣を構えました。家康は、秀吉軍を迎え撃つため、わずか5日間で土塁や堀を築いたといわれ、今でもその姿が残されています。

小牧山城は、三英傑と天下とりの歴史が折り重なる城なのです。

1 大手道

信長が築城時に整備した小牧山城の正面から山頂に通じる道。敵から守るため複雑な道となっていることが一般的ですが、信長はあえてまっすぐに伸びる大手道を作りました。まっすぐな大手道は、後に信長が築城した安土城でも採用されています。



ビューポイント

歴史館の展望室からは鈴鹿・御嶽などの峰々や濃尾平野を一望できるほか、岐阜城や犬山城も眺めることができます。

また、南側には信長が城とともに整備した城下町の名残を見ることができます。



おすすめ散策コース

おすすめ散策コース①

大手道コース

約20分

小牧山MAPのコースです。

お城の正門とされる「大手口」から、小牧山城の正面ルートにあたる「大手道」をのぼるルート。織田信長の足跡をたどり、歴史のロマンを感じてみては。

4 小牧山稲荷神社

小牧山稲荷神社は、「吉五郎伝説」に登場する小牧山に住んでいた狐の親分「吉五郎」を祀っています。本殿に吉五郎稲荷大神、奥宮に吉丈稲荷大神、本殿左横に初里竜神大神の三社があります。



5 信長の石垣①

小牧山歴史館周辺の主郭地区では、山頂をめぐる斜面に連続して石垣が積み重ねられていました。信長築城時の石垣で、近世城郭石垣のルーツであると考えられています。石垣の高さは2.5~3.8mもあったと推定され、1石2トン以上の重さがあるものも使われています。現在は発掘調査の結果を基に、石垣復元整備が進められています。



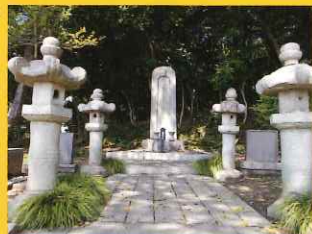
6 信長の石垣②

山頂付近の大手道沿いの一部の石垣は、人工的に切り立てた岩盤の上に積み重ねられていました。最も高い岩盤の高さは3.2mで、その上の石垣は約2mの高さがあったと推定されています。現在は、信長築城当時のままの岩盤面を露出させて石垣を復元しています。



3 徳川源明公の碑

尾張藩九代藩主・徳川宗睦(源明公)の墓碑。もとは名古屋市東区の建中寺の墓地にありましたが移転することとなり、この地に安置されました。源明公は、小牧に代官所を設け、小牧発展の礎を築きました。



2 復元土塁

小牧・長久手の合戦時に徳川四天王の一人、榊原康政に命じて造らせた土塁や堀を復元したものです。土塁の高さ、堀の深さは圧巻です。



桜
3月下旬~4月上旬

梅
3月~4月初旬

ツツジ
4月下旬~5月

紅葉
11月中旬~12月上旬

おすすめ散策コース②

自然満喫コース

約30分

小牧山MAPのコースです。

ゆるやかな傾斜で小牧山を存分にお楽しみください。ふだんは気づかなかった小牧山の草花に出会えます。ウォーキングコースとしても多くの方が楽しんでいます。

おすすめ散策コース③

鍛錬コース

約15分

小牧山MAPのコースです。

お城まで一気にのぼるルートです。傾斜がきついで、体力に自信のある方はこのコースを試してみたいはいかがでしょうか。足元には十分にお気をつけください。

おすすめ散策コース④

搦手道コース

約30分

小牧山MAPのコースです。

五段坂と呼ばれるジグザグの坂道が続きます。